様式１

平成２７年度　全国学力・学習状況調査の結果概要

広島市立己斐上中学校

１　調査の目的

（１）全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

（２）各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（３）各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

２　調査の実施日　　平成２７年４月２１日（火）

３　調査実施学校数（公立学校）等

区　分	調査実施校数（校）			調査実施者数（人）			
	国	県	市	国	県	市	学校
小学校第６学年	20,033	488	141	1,061,301	24,481	10,550	―
中学校第３学年	9,731	242	64	1,016,737	22,008	9,072	47

４　調査内容

（１）教科に関する調査（ 国語　，算数・数学　，理科 ）

主として知識に関する問題〔Ａ問題〕

◇　身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容

◇　実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能　　など

主として活用に関する問題〔Ｂ問題〕

◇　知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力

◇　様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力　　など

※　理科は、主として知識に関する問題と主として活用に関する問題を一体的に出題

（２）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査

◇　学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校に対する調査

◇　指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

５　各教科の平均正答率

【中学校】

国語								数学								理科			
Ａ問題				Ｂ問題				Ａ問題				Ｂ問題							
国	県	市	学校	国	県	市	学校	国	県	市	学校	国	県	市	学校	国	県	市	学校
75.8	76.5	75.6	78.5	65.8	67.0	65.8	70.4	64.4	64.6	63.9	66.8	41.6	42.7	41.5	44.3	53.0	52.2	50.9	55.1